

いのちの森

都心に再生された生き物の聖域

いのちの年表

草も木もない貨物ヤード!



いのちの森ができる前

1996
ツキヨタケ発生! (数年経続)



いのちの森 開園!

森・草地・小川・湿地・池などかつて京都にあった色々な環境を再現



1997
希少種ウチワドコロ・トチカガミ発生!



初めての自然観察会開催



ウチワドコロ

なりたち

1996年4月に開設されたいのちの森は、いつの間にか私たちの身の回りから姿を消してしまった生き物たちが帰ってくることを夢見てつくられました。もともとは草も木もなかった貨物駅の跡地を、人の手で多様な生き物が生息できる環境へと蘇らせた京都で初めての試みです。

2012
小学生の自然観察会スタート!



2005
トリュフ発生!



2000
コクワガタ出現!



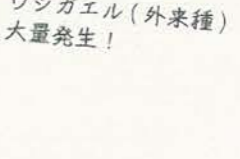
1999
「水辺の宝石」カワセミ飛来!
(以後、ほぼ毎年観察されている)



1998
ゴマダラチョウを発見!



ウシガエル(外来種)大量発生!



2016
フクロウが飛来!



フクロウが飛来!

2014
田んぼを復田
(田植え・種刈り体験スタート!)



田んぼを復田
(田植え・種刈り体験スタート!)

2013
雨を運ぶカシノナガキクイムシが入り込み、木くずが出ていた様子。



ナラ枯れ被害発生!

2006
オオタカ確認!



オオタカ確認!

これまで

いのちの森では、開園から20年が経った時点で「植物572種、菌類344種、鳥類64種、昆虫29種」が発見されており、まちなかにも関わらず多様な生き物のオアシスとなっています。



1998



2015



1996



2016

生き物たちのドラマは続く

めざす姿

京都本来の植生を復元するために、都市化以前の環境(京都山城原野の原植生)を彷彿させる下鴨神社「糺の森」の落葉広葉樹林と周りを囲む三山の樹林を目標にしました。

さらに、たくさんの生き物がやってくるよう、森・草地・小川・湿地・池などの京都盆地でかつて見られた多様な自然環境を再現しています。



目標樹林の一つ「糺の森」

